書式第１２号（法第２８条関係）

事　業　報　告　用

2021年度　　事　業　報　告　書

特定非営利活動法人　ゴールドリボン・ネットワーク

1　事業の成果

2021年度は前年度から引き続きコロナウイルス感染症（以下、「COVID-19」と記載。）の対応を行いながら、小児がん支援の事業活動を継続した年であった。

【1】収入面では、2021年度の収入実績は123,920,148円で、2021年度予算85,764,900円を大きく上回った。これは、ゴールドリボン会員からの継続寄付（会費）が個人、法人とも2020年度を上回り、会員数が、個人が約20%増（マンスリー寄付の一般寄付から継続寄付への区分変更分を除く）、法人が約11%増となったことによる。なお、一般寄付は、2020年度と比較し個人からの寄付は約1,600万円増、法人は約2,500万円減となった。この個人寄付の増加は2020年度末に行ったHPリニューアル等による支援者の増加によるが、うち約50%は後述する遺贈からによるものである。法人寄付の減少は、COVID-19に対する緊急支援的な寄付が前年度に比べて減少したことによる。

収入確保のための施策として、前年度に引き続き2021年度も奨学金のためのクラウドファンディングを実施し、目標額500万円に対し約645万円の寄付が集まった（手数料14%差引後約545万円）。

また、助成金申請については、2021年度の事業を支援対象とする助成金は3件、約152万円となった（内、約63万円はニット帽・マスクプレゼント事業、約89万円は2020年度に採択されたテレワーク助成金）。
※2021年度に採択され2022年度を支援対象とする助成金3件については2022年度事業計画に記載。

さらに、当法人では2020年後半から遺贈寄付にも注力することとし支援者等への告知を行った。その結果2021年度には3件890万円の遺贈寄付を受けた。

支援自動販売機は、支援企業からの紹介等でCOVID-19の渦中においても25台増設された。しかしながらCOVID-19によるテレワークの拡大によるオフィススペース削減や出社者削減の影響を受けて、それらオフィスに設置されていた52台が撤去され、全体では27台減少した。

古本募金については、当法人の支援企業の中で古本募金を自らの顧客まで広めていただけるという新しい動きが広がった。ただし、年間の寄付件数、金額ともに前年度を下回る結果であった。

一方、2021年度も2020年度同様東京マラソン、大阪マラソン等の寄付につながるイベントが中止・延期となった（2019～2020年度の収入となった2020大会の寄付は約2,000万円）。また、COVID-19が発生した当初の2020年度に緊急支援を目的として実施された大規模な助成金の支給や、支援企業等によ

る緊急募金の取り組みなどは2021年度には通常の状態に戻ったこともあり、資金調達のための努力が必要となった。

【２】2021年度は引き続きCOVID-19により小児がん患児・経験者やその家族が受ける影響への対応を含めて、当法人の事業活動を強化した。

①2020年度に引き続き、小児がん患児は治療のための通院にあたって、感染症は小児がん患児の命の危険に直結することから、医師により公共交通機関の利用が禁止され、自家用車、レンタカー、タクシーでの移動を余儀なくされている。また、付添者が安価で利用できる宿泊施設（ファミリーハウスなど）では県を越えた移動をした直後の数日は利用ができないなどの制限により、その間、民間のホテルを利用せざるを得ないことでの宿泊費の増加や、宿泊施設利用時に自己負担でのPCR検査が求められることによる支出も増えている。また、世帯収入がCOVID-19の影響により減少した世帯も多いと考えられる。

この中で、当法人による交通費等補助制度は拠点病院等の患児・家族向けのガイドブックに掲載されていることなどにより支援対象者へ周知されてきている。こうした状況もあり、2021年度の申請・支給総額は2019年度から大きく増加した2020年度をさらに16%以上上回る申請（191件）、支給総額（約2,670万円）となった。

②小児がん患児を持つ家庭はひとり親世帯の割合が高いこともあり、収入面でCOVID-19による打撃を受けている家庭も比較的多い。また、晩期合併症の治療を継続している場合、医療費の補助が無くなる20歳以降の経済的負担に不安を抱えているケースもある。そのため、大学生への奨学金制度のニーズは年々高くなっている。

2022年度入学予定者の奨学金への応募は、これまで最多の50名となった（うち、所得基準による審査対象範囲内は過去最多の前年度37名に次ぐ36名）。前述のとおりクラウドファンディングで多くのご協力をいただいた結果645万円（手数料を除き545万円）の資金を追加することができたことと、前年度の特定資産への積み立て分を利用し、当初予定していた採用人数10名程度を超える、14名（4年制11名、2年制3名）の奨学生を採用した。

③キャンプ助成は前年度に引き続き、COVID-19の影響により対面での活動ができないため、オンラインでイベントを行った3団体のみへの助成となった。参加者は140名、うち患児41名であった。

④2021年度のニット帽は278枚（2020年度300枚）、2020年度に開始したニットマスクプレゼントは592枚（2020年度511枚）であった。

【３】小児がんの治癒率向上及びQOL向上のための研究支援は、応募件数26件、助成決定は16件、助成総額1,360万円となった。また、留学支援については東京小児がん研究グループ（TCCSG）が選考した[redacted]に、最先端の小児がん研究を行っているSt. Jude

Children's Research Hospital への留学を支援した。

【4】COVID-19 感染拡大から 2 年目となる 2021 年度は、COVID-19 への対応をしながら新たな事業も開始した。

①希少がんである小児がんは、発症した子を持つ親が相談先に悩むケースが少なくない。また COVID-19 感染拡大で病院への受診に不安を感じる患児・家族もいると予想されることから、気軽に相談できる場としてオンライン医療相談を無償で提供開始した。オンライン相談事業を提供している株式会社メディカルノートに業務委託し、対象者の相談にかかる費用を当法人が負担する。

②近年、AYA 世代（15 歳～39 歳）のがん患者が抱える課題（医療費、移行期医療、教育体制、就学、就職）に関する認識が広がってきている。この AYA 世代が抱える課題の解決、QOL 向上の一助とするため、「一般社団法人 AYA がんの医療と支援のあり方研究会」が新たに開始した AYA がん啓発イベントである「AYA week 2021」に協賛し、参加イベントの一つとして若年性がん患者団体 STAND UP!!との共催で交流会「AYA Meeting 2021 ～立場を超えた交流～」を実施した。

③奨学金事業をこれまで実施する中で、小児がん再発や晩期合併症からの体調悪化等により休学・退学せざるを得ない等、様々な困難を抱えている奨学生がいることが分かった。また、小児がん経験者であるが故の学生生活や就職活動の課題などについて、身近に相談相手を見つけにくいという学生も多い。特に昨年以来、COVID-19 の感染拡大で授業がオンライン化されるなど、学校での人間関係が構築しにくい環境になり孤独を感じる学生も増えている。これらの課題解決に結びつけることを目的に、初めての試みとして「奨学生のオンライン交流会」を実施した。同年代の小児がん経験者との交流により、小児がん経験者特有の悩みや課題、将来の目標などについてお互いの体験や思いを共有するとともに、自身も小児がんサバイバーである医師にもご参加いただいた。現役生、卒業生合わせて 8 名と医師との交流を行った。

【5】小児がん啓発のための普及、情報発信事業では COVID-19 感染拡大に対応し、オンラインイベントを実施した。

①小児がん啓発イベントであるゴールドリボンウオーキングは、2020 年度は中止となったが、2021 年度はオンラインで実施された。当法人は実行委員会メンバーとして参画し、特別協賛した。YouTube で配信したオンラインイベントは総再生回数 13,752 回、寄付総額約 600 万円となり、病院、患者会等 38 ヵ所へ寄付された。また、オンラインイベントでは 2020 年度に制作した小児がんの子ども達への応援歌『WE ARE ONE』を上映し、全国の視聴者に向け啓発した。

②世界小児がん啓発月間（9 月）に合わせ、2021 度から当法人でも啓発イベント「Gold Ribbon Month」を開始した。2021 年度は小児がん患児・経験者によるオンライン作品展を実施し、作品展に出展した 3 名のインタビュー動画を制作し HP 等を通して公表した。また、ゴールドリボン通信に掲載した小児が

ん患児の保護者による手記の HP 掲載を開始した（手記は今後活動報告書と通信で連載することとし、同時に HP にも掲載する）。

また、特定非営利活動法人日本小児がん研究グループ（JCCG）が 9 月に実施した Global Gold September Campaign に賛同団体として参加した。

2　事業の実施に関する事項

（1）特定非営利活動に係る事業　　（事業費の総費用【　115,418　】千円）

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費（千円）
(1) 小児がん支援のためのゴールドリボン普及事業	①オンラインイベントとして実施されたゴールドリボンウオーキングで自らの体験を発表する小児がん経験者を紹介すると共に、実行委員会のメンバーとして参画し、特別協賛した。 ②提携商品を通じて一般の方々へゴールドリボンや当法人の活動の認知を高めると共に、支援自動販売機での普及活動を継続した。 ③10月に予定されていた東京マラソンは2022年3月に延期となったが、東京マラソンチャリティの寄付先団体として39プログラムに参加し、情報発信などの普及活動を行った。 11月に予定されていた大阪マラソンは2022年2月に延期となった。	通年	全国	6 名	一般市民	延べ 250 万人（自販機等提携商品の販売数を含む）	21,430
(2) 小児がんの治癒率向上のための研究・開発者支援事業 (3) 小児がん経験者の生活の質の向上のための研究者支援事業	①一般公募による応募26グループから、選考委員会により決定された16の研究グループへ助成を行った。 ②日本小児血液がん学会及び日本小児がん研究グループ（JCCG）等研究団体への助成を行った。 ③東京小児がん研究グループ（TCCSG）スカラーシップ委員会で選考された研究者留の学支援を行った。	通年	全国	3 名	医師 研究者 研究機関	のべ 17 団体 100 名	23,755

(4) 小児がんに関する情報収集並びに情報提供事業	①公益財団法人神戸医療産業都市推進機構 医療イノベーション推進センター（TRI）との協働事業として、米国NCI作成のPDQの小児がん情報の日本語版作成を支援した。 ②9月の世界小児がん啓発月間に合わせたオンラインイベント「Gold Ribbon Month 2021」の中で、小児がん患児・経験者によるオンライン作品展を実施し、小児がん経験者による体験談のインタビュー動画を公開した。 ③2020年度活動報告書、ゴールドリボン通信を発行し、支援者、寄付者及び当法人の活動に関心のある個人・法人へ配布した。 ④当法人の活動報告や、小児がんに関する情報をホームページ上で情報発信した。 ⑤2020年12月にオンラインで開催された「第19回国際小児脳腫瘍シンポジウム」へ協賛した。	通年	インターネット	2名	一般市民、小児がん患児、経験者とその家族	10万人	8,302
(5) 小児がんに関する国内外の専門家、団体、研究機関とのネットワーク構築事業)	①日本で小児がん治療・研究を専門とする、小児がん拠点病院、総合病院等200以上が参加する日本小児がん研究グループ（JCCG）の支援協議会にメンバーとして参加した。 ②小児がん経験者の集まりであるサバイバーネットワークへの情報配信は、登録者が前年度より200名増えて657名となった（前年度452名）	通年	全国	2名	医師 研究者 研究機関 患児、経験者、家族	1500人	0
(6) 小児がんに関するシンポジウム・講演会事業	①企業の勉強会にオンラインで参加し、小児がんの現状、及び当法人の活動について講演した。	通年	全国	3名	一般市民	2000人	0

(7) 小児がんの知識、理解の普及・啓発事業	①ゴールドリボンウオーキングを通して小児がん経験者の体験談を発表し、小児がんの理解と子ども達への支援の輪を広げた。また、小児がん患児・経験者のための応援歌『We Are One』を上映した。	通年	全国	10名	一般市民	1300人	3,969
(8) 小児がんの子どもたち（患児、経験者及びその家族を含む）の生活の質向上のための支援事業	①奨学金については、全国の小児がん経験者の大学生への奨学金（予約採用型、給付型）を49名に給付し、2022年度からの新規受給者として新たに14名を決定した。 ②小児がん患児とその家族が治療のため遠隔地の病院へ行くための交通費・宿泊費等の支援をのべ191家族に行った。 ③小児がん患児・経験者やその家族を支援する団体が実施するキャンプ、イベントへの支援は、オンライン開催をした3 団体に対し支援をした。 ④小児がんの患児に向けて、ニット帽子と、昨年から引き続きマスクも希望者にプレゼントし、ニット帽278件、マスク592枚を配布した。 ⑤株式会社メディカルノートと提携し、小児がん患児・家族のための無料オンライン医療相談事業を行った。	通年	全国	5名	小児がん患児、経験者とその家族	10000人（オンラインイベントユニーク視聴者数含む）	57,962

特定非営利活動法人 ゴールドリボン・ネットワーク

活動計算書

令和3年1月1日から令和3年12月31日まで

（単位：円）

科目	金額		
Ⅰ 経常収益			
1. 正会員受取会費		75,000	
2. 受取寄付金			
ゴールドリボン会員個人寄付	13,726,000		
ゴールドリボン会員法人寄付	12,625,000		
一般寄付	94,965,841	121,316,841	
3. 受取助成金等			
受取助成金		2,527,100	
4. その他の収益			
受取利息		1,207	
経常収益計			123,920,148
Ⅱ 経常費用			
1. 事業費			
(1)人件費			
役員報酬	0		
給料手当	17,967,975		
通勤費	708,270		
スタッフ業務委託費	4,482,323		
法定福利費	2,220,783		
人件費計	25,379,351		
(2)その他経費			
交通費助成金支出	26,722,414		
その他助成金支出	25,954,962		
自立支援奨学金支出	18,360,000		
患児支援品	1,044,450		
業務委託費	1,912,212		
謝金等	72,389		
研修費	2,200		
通信費(電話料等)	211,419		
通信費(郵便料)	2,642,256		
宅配料	191,129		
水道光熱費	130,740		
旅費交通費	64,678		
広報費	726,000		
会議費	66,260		
消耗品費	1,030,285		
普及消耗品費	2,008,424		
図書・ソフトウェア	72,596		
印刷出版物費	1,299,887		
賃借料	2,230,777		
銀行手数料	266,344		
集金代行手数料	1,157,106		
支払手数料	3,233,798		
減価償却費	638,916		
その他経費計	90,039,242		
事業費計		115,418,593	
2. 管理費			
(1)人件費			
役員報酬	0		
給料手当	2,060,407		
通勤費	43,488		
スタッフ業務委託費	5,230,811		
法定福利費	483,280		
福利厚生費	26,400		
人件費計	7,844,386		
(2)その他経費			
業務委託費	800,800		
顧問料	2,150,500		
謝金等	22,274		
研修費	13,000		
通信費(電話料等)	142,397		
通信費(郵便料)	4,852		
宅配料	1,386		
水道光熱費	38,364		
旅費交通費	2,972		
会議費	12,600		
消耗品費	620,131		
図書・ソフトウェア	149,561		
賃借料	918,256		
保険料	12,843		
諸会費	33,135		
租税公課	2,600		
銀行手数料	51,363		
支払手数料	35,500		
減価償却費	432,750		
その他経費計	5,445,284		
管理費計		13,289,670	
経常費用計			128,708,263
当期経常増減額			△ 4,788,115
Ⅲ 経常外収益			
経常外収益計			0
Ⅳ 経常外費用			
経常外費用計			0
税引前当期正味財産増減額			△ 4,788,115
法人税、住民税及び事業税			0
当期正味財産増減額			△ 4,788,115
前期繰越正味財産額			126,989,737
次期繰越正味財産額			122,201,622

特定非営利活動法人 ゴールドリボン・ネットワーク

貸借対照表

令和3年12月31日現在

（単位：円）

科目	金額		
Ⅰ　資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	51,189,571		
金券	62,680		
未収金	765,022		
前払費用	25,687		
立替金	188,862		
特定資産（自立支援基金）	69,792,792		
流動資産合計		122,024,614	
2. 固定資産			
(1) 有形固定資産			
什器備品	909,618		
有形固定資産計	909,618		
(2) 無形固定資産			
ソフトウェア	2,107,550		
無形固定資産計	2,107,550		
(3) 投資その他の資産			
敷金	187,077		
投資その他の資産計	187,077		
固定資産合計		3,204,245	
資産の部合計			125,228,859
Ⅱ　負債の部			
1. 流動負債			
預り金	216,007		
未払費用	2,811,230		
流動負債合計		3,027,237	
負債の部合計			3,027,237
Ⅲ　正味財産の部			
前期繰越正味財産		126,989,737	
当期正味財産増減額		△ 4,788,115	
正味財産の部合計			122,201,622
負債の部及び正味財産の部合計			125,228,859

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日　2017年12月12日最終改正　NPO法人会計基準協議会)によっています。

(1)固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は、法人税法の規定に基づいた定額法で償却をしています。

(2)消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込経理方式によっています。

2. 事業費の内訳

(単位:円)

科目	ゴールドリボン普及事業	小児がん治癒率向上のための研究支援事業	小児がん情報の収集と提供事業	小児がんの知識・理解の普及・啓発事業	小児がん患児と家族のQOL向上支援事業	合計
(1)人件費						
役員報酬						0
給料手当	6,352,576	1,508,275	2,516,005	2,235,115	5,356,004	17,967,975
通勤費	322,716	61,206	77,373	78,750	168,225	708,270
スタッフ業務委託費	1,829,945		1,344,611	782,321	525,446	4,482,323
法定福利費	488,637	170,096	415,860	353,641	792,549	2,220,783
人件費計	8,993,874	1,739,577	4,353,849	3,449,827	6,842,224	25,379,351
(2)その他経費						
交通費助成金支出					26,722,414	26,722,414
その他助成金支出	500,000	21,884,942	1,941,800	500,000	1,128,220	25,954,962
自立支援奨学金支出					18,360,000	18,360,000
患児支援品					1,044,450	1,044,450
業務委託費	320,449		931,763		660,000	1,912,212
謝金等		55,685			16,704	72,389
研修費	2,200					2,200
通信費(電話料金等)	211,419					211,419
通信費(郵便料)	2,640,186				2,070	2,642,256
宅配料	175,337	2,350	12,122	1,320		191,129
水道光熱費	130,740					130,740
旅費交通費	3,718	58,940	1,580		440	64,678
広報費	110,000		616,000			726,000
会議費		12,960			53,300	66,260
消耗品費	908,215		18,214	17,724	86,132	1,030,285
普及消耗品費	2,008,424					2,008,424
図書・ソフトウェア	70,616				1,980	72,596
印刷出版物費	962,690		321,230		15,967	1,299,887
賃借料	2,230,777					2,230,777
銀行手数料	265,034	880	330		100	266,344
集金代行手数料	1,157,106					1,157,106
支払手数料	205,443				3,028,355	3,233,798
減価償却費	533,500		105,416			638,916
その他経費計	12,435,854	22,015,757	3,948,455	519,044	51,120,132	90,039,242
事業費合計	21,429,728	23,755,334	8,302,304	3,968,871	57,962,356	115,418,593

3. 使途等が制約された寄付等の内訳

使途等が制約された寄付等の内訳は以下の通りです。

当法人の正味財産は122,201,622円ですが、そのうち1,000,000円は、下記のように使途が特定されています。したがって使途が制約されていない正味財産は121,201,622円です。

(単位:円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
みてね基金	5,968,446		5,968,446	0	小児がん交通費など補助金制度
デンソーグループはあとふる基金		120,000	120,000	0	ニット帽・マスク・送料
事業継続緊急対策(テレワーク)助成金		889,000	889,000	0	テレワーク用のPC・マウス・モバイルモニタ
コロナに負けるな！　浅井スクスク基金　子ども緊急助成プログラム		518,100	518,100	0	ニットマスク(2020購入分含む)・送料
奨学金事業指定寄付2020 ｸﾗｳﾄﾞﾌｧｳﾝﾃﾞｨﾝｸﾞ		10,881,000	10,881,000	0	自立支援制度　奨学金
奨学金事業指定寄付2021 ｸﾗｳﾄﾞﾌｧｳﾝﾃﾞｨﾝｸﾞ		6,452,000	6,452,000	0	自立支援制度　奨学金
Forchildren基金		1,000,000		1,000,000	ひとり親世帯支援
合計	5,968,446	19,860,100	24,828,546	1,000,000	

4. 固定資産の増減内訳

(単位:円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
什器備品	245,408	1,210,000		1,455,408	△ 545,790	909,618
無形固定資産				0		
ソフトウェア	3,577,440	220,000		3,797,440	△ 1,689,890	2,107,550
合計	3,822,848	1,430,000	0	5,252,848	△ 2,235,680	3,017,168

5. 役員及びその近親者との取引の内容

役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

(単位:円)

科目	財務諸表に計上された金額	内、役員との取引	内、近親者及び支配法人等との取引
(活動計算書)			
正会員受取会費	75,000	40,000	
受取寄附金-ゴールドリボン会員個人寄付	13,726,000	655,000	226,000
受取寄附金-ゴールドリボン会員法人寄付	12,625,000		120,000
受取寄附金-一般寄付	94,965,841	768,000	1,059,262
集金代行手数料	1,157,106		75,680
活動計算書計	122,548,947	1,463,000	1,480,942
(貸借対照表)			
立替金	188,862		188,862
貸借対照表計	188,862	0	188,862

6. その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項

・事業費と管理費の按分方法

各事業の経費及び事業費と管理費に共通する経費のうち、人件費については従事割合、地代家賃・水道光熱費については使用割合に基づき按分しています。

特定非営利活動法人 ゴールドリボン・ネットワーク

財産目録

令和3年12月31日現在

（単位：円）

科目	金額		
Ⅰ　資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
金券	62,680		
普通預金 みずほ銀行	32,761,285		
普通預金 三菱UFJ銀行	12,663,009		
普通預金 ゆうちょ銀行	5,765,277		
未収金			
コンビニ収納代金未収	46,000		
クレジット代金未収	719,022		
前払費用	25,687		
立替金	188,862		
特定資産			
自立支援基金	69,792,792		
流動資産合計		122,024,614	
2. 固定資産			
(1) 有形固定資産			
什器備品			
ノートパソコン 1台	1		
電話機	70,867		
ミュージックビデオ	357,500		
インタビュー動画	481,250		
有形固定資産計	909,618		
(2) 無形固定資産			
ソフトウェア			
会員管理システム	1,019,466		
WEBサイト制作費	904,750		
Amazonpay構築	183,334		
無形固定資産計	2,107,550		
(3) 投資その他の資産			
敷金	187,077		
投資その他の資産計	187,077		
固定資産合計		3,204,245	
資産合計			125,228,859
Ⅱ　負債の部			
1. 流動負債			
預り金			
社会保険料等預り金	216,007		
未払費用			
職員人件費 12月分	1,891,309		
スタッフ業務委託費 12月分	754,921		
業務委託費 12月分	165,000		
流動負債合計		3,027,237	
負債合計			3,027,237
正味財産			122,201,622

書式第１８号（法第２８条関係）

事　業　報　告　用

2021年度年間役員名簿

（前事業年度において役員であったことがある全員の氏名及び住所又は居所並びにこれらの者についての前事業年度における報酬の有無を記載した名簿）

特定非営利活動法人　ゴールドリボン・ネットワーク

１　確認事項（法第２０条及び第２１条を確認の上、チェックを入れてください。）

☑以下の役員には、欠格事由者が含まれません。（法第２０条関係）
☑各役員について、親族の規定に違反していません。（法第２１条関係）

２　役員一覧

	役　名 どちらかに○	（フリガナ） 氏　　名	[redacted]	前事業年度内の就任期間	報酬を受けた期間 （該当者のみに記入）
1	理事・監事	マツイヒデフミ 松井　秀文	[redacted]	2021年 1月 1日 ～ 2021年12月31日	年　月　日 ～ 年　月　日
2	理事・監事	ウエダシゲル 上田　茂	[redacted]	2021年 1月 1日 ～ 2021年12月31日	年　月　日 ～ 年　月　日
3	理事・監事	カワニシユミコ 川西　由美子	[redacted]	2021年 1月 1日 ～ 2021年12月31日	年　月　日 ～ 年　月　日
4	理事・監事	ササキイクオ 佐々木　郁夫	[redacted]	2021年 1月 1日 ～ 2021年12月31日	年　月　日 ～ 年　月　日
5	理事・監事	レイクセイコ レイク聖衣子	[redacted]	2021年 1月 1日 ～ 2021年12月31日	年　月　日 ～ 年　月　日
6	理事・監事	ナカヤマコウジ 中山　晃司	[redacted]	2021年 1月 1日 ～ 2021年12月31日	年　月　日 ～ 年　月　日
7	理事・監事	オノマサト 小野　正人	[redacted]	2021年 1月 1日 ～ 2021年12月31日	年　月　日 ～ 年　月　日
8	理事・監事	イソナカジュン 磯中　淳	[redacted]	2021年 1月 1日 ～ 2021年12月31日	年　月　日 ～ 年　月　日
9	理事・監事	マノナオミ 眞野奈緒美	[redacted]	2021年 1月 1日 ～ 2021年12月31日	年　月　日 ～ 年　月　日
10	理事・監事	イトウヒトシ 伊藤　齊	[redacted]	2021年 1月 1日 ～ 2021年12月31日	年　月　日 ～ 年　月　日

書式第４号（法第１０条・第２８条関係）

設立・事業報告用

社員名簿（社員のうち１０人以上の者の名簿）

特定非営利活動法人　ゴールドリボン・ネットワーク

	氏　　名	[redacted]
1	松井　秀文	
2	上田　茂	
3	川西　由美子	
4	佐々木　郁夫	
5	レイク聖衣子	
6	中山　晃司	
7	小野　正人	
8	磯中　淳	
9	眞野奈緒美	
10	伊藤　齊	